

資料—6

## 尾原ダム水源地域ビジョンの広報の状況

### 1. 広報計画に基づく実施内容

平成25年3月13日

尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局

# 1. 広報計画に基づく実施内容

## ①ホームページ

尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会での協議内容や資料を国土交通省出雲河川事務所ホームページ上に専用コーナーを設け、広く水源地域ビジョンの策定状況を発信します。

また、島根県、及び雲南市、奥出雲町については、専用コーナーへのリンク設定を実施し、地域住民等に水源地域ビジョンの策定状況を発信します。

### 【実施事項】

- ◆ 第1回策定委員会の結果を、出雲河川事務所ホームページの専用コーナーで公開 10/1  
(設立趣意、規約、委員会名簿、配布資料、議事要旨等)
- ◆ 島根県土木部斐伊川神戸川対策課のホームページに専用コーナーへのリンク設定 10/5
- ◆ 島根県雲南県土整備事務所のホームページに専用コーナーへのリンク設定 10/11
- ◆ 雲南市のホームページに専用コーナーへのリンク設定 10/11
- ◆ 雲南市ホームページにニュースレター (PDF) を掲載 11/13
- ◆ 尾原ダム管理支所ホームページに尾原ダム水源地域ビジョンニュース (PDF) を掲載 11/15
- ◆ 第2回策定委員会の結果を、出雲河川事務所ホームページの専用コーナーで公開 1/29  
(配布資料、議事要旨等)



尾原ダム管理支所ホームページ

▶ HOME

防災情報 | 事務所の取り組み | 委員会懇談会 | 斐伊川を知る | 斐伊川を楽しむ | 治水計画 | 斐伊川水系の法定計画

流域全体に関する会議等 | 共通湖に関する会議等 | 大橋川に関する会議等

中海に関する会議 | ダムに関する会議

### 尾原ダム水源地域ビジョンニュース

号数	タイトル	発行日
1号(創刊号)	「尾原ダム水源地域ビジョン」をつくります。	平成24年9月24日
2号	第1回「尾原ダム水源地域ビジョン作業部会(仮称)」を開催しました1	平成24年10月30日
3号	第2回「さらさらおろちを活性化する会」を開催しました	平成24年11月28日
4号	第3回「さらさらおろちを活性化する会」を開催しました	平成24年12月25日
5号	第2回「尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」を開催しました1	平成25年1月29日

### 尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会

■ 設立趣意

■ 規約

■ 委員会名簿

■ 委員会開催状況

	開催日時	資料	議事要旨
第1回	平成24年 9月20日 14:00～16:00	議事次第 資料-1: 尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会 設立趣意・規約(案) 資料-2: 水源地域ビジョンの概要 資料-3: 水源地域ビジョン 策定事例 資料-4: 尾原ダム水源地域ビジョン策定手法(案) 資料-5: 尾原ダム水源地域ビジョンの基本理念・地域の日標像・基本方針(案) 資料-6: 広報計画(案)	議事要旨
第2回	平成25年 1月17日 10:00～12:00	議事次第 資料-1: 第1回委員会委員意見への対応状況 資料-2: 尾原ダム水源地域ビジョンの基本理念・地域の日標像・基本方針 資料-3: 「第1回委員会」以降の取組経過 資料-4: 尾原ダム水源地域ビジョンにおけるプロジェクト(案) 資料-5: 尾原ダム水源地域ビジョンのプロジェクトの取組時期(案) 資料-6: 尾原ダム水源地域ビジョンの広報の状況 資料-7: さくらおろち湖周辺及び湖沼利用に関する手引き(案)、同ハンドブック(案)	議事要旨

## 出雲河川事務所ホームページ

リンク集

- 出雲川
- 斐伊川
- 尾原ダム
- 尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会



4F 出雲県土整備事務所  
(業務部、農林工務部、土木工務部、志津見ダム-尾原ダム対策2Fの)

3F 出雲県土整備事務所  
(維持管理課、建築課、技術管理2Fの)

【所在地】〒696-1366  
島根県雲南市水戸町豊方531番地1  
島根県雲南県土整備事務所  
TEL: 0854-42-9187  
FAX: 0854-42-9657  
E-MAIL: info@maine.koudo@pref.shimane.jp

上ノ庄 出雲県土整備事務所  
【お問い合わせ】出雲県土整備事務所 総務グループ TEL: 0854-42-9187

雲南市 UNNAN

最新情報

- 雲南市建設工事、無償-建設センター土木建築課3月16日 (2024年10月18日 更新)
- ふんふん会館 2024 9/26/27 (2024年10月18日 更新)
- 防災にやさしい家づくり推進プロジェクト 9/26/27 (2024年10月18日 更新)
- 雲南市では、水たまり対策及び排水設備の取組が中心で、...
- 防災にやさしい家づくりの取組 (2024年10月18日 更新)
- 雲南市では、水たまり対策、排水設備の取組が中心で、...
- 尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会が開催されました。9/26/27 (2024年10月18日 更新)
- 雲南市防災行政支援、防災にやさしい家づくり (2024年10月18日 更新)
- 雲南市では、水たまり対策、排水設備の取組が中心で、...
- 防災にやさしい家づくりの取組 (2024年10月18日 更新)
- 雲南市では、水たまり対策、排水設備の取組が中心で、...
- 防災にやさしい家づくりの取組 (2024年10月18日 更新)

## 島根県雲南県土整備事務所ホームページ

## 雲南市ホームページ



- 尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会
- 尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会(仮称)
- さらさらおろちを活性化する会
- さらさらおろちを活性化する会(仮称)

## 島根県土木部斐伊川神戸川対策課ホームページ



### ③ニュースレター

策定委員会やさくらおろちを活性化する会における議事内容や、発言内容などをわかりやすくとりまとめたニュースレターを作成し、地域住民等に策定状況などを周知しています。

#### 【実施事項】

- ◆ 第1回策定委員会の結果を掲載した「尾原ダム水源地域ビジョンニュース（創刊号）」を発行 9/24
- ◆ 第1回活性化する会の結果を掲載した「尾原ダム水源地域ビジョンニュース（第2号）」を発行 12/27
- ◆ 第2回活性化する会の結果を掲載した「尾原ダム水源地域ビジョンニュース（第3号）」を発行 12/27
- ◆ 第3回活性化する会の結果を掲載した「尾原ダム水源地域ビジョンニュース（第4号）」を発行 12/27
- ◆ 第2回策定委員会の結果を掲載した「尾原ダム水源地域ビジョンニュース（第5号）」を発行 1/29
- ◆ 第4回活性化する会の結果を掲載した「尾原ダム水源地域ビジョンニュース（第6号）」を発行 1/13
- ◆ 関係行政機関や道の駅など41施設に配布
- ◆ 第2号を雲南市、奥出雲町の回覧板で回覧 2/1
- ◆ 第3号を雲南市、奥出雲町の回覧板で回覧 2/1
- ◆ 第5号・第6号を雲南市の回覧板で回覧 3/1
- ◆ 第5号を奥出雲町の回覧板で回覧 3月中旬予定



[道の駅きすき]



[道の駅掛合の里]



[道の駅広瀬・富田城]



[道の駅本庄]

尾原ダム便り・ニュースレターの設置状況

# 尾原ダム水源地域ビジョンニュース

創刊号 (H24.9.24発行)

「尾原ダム水源地域ビジョン」の策定がはじまりました。  
このニュースレターでは、ダム等を活かして地域の更なる活性化に取り組む「尾原ダム水源地域ビジョン」の策定の状況を地域の皆様にお知らせしていきます。地域の更なる活性化の主役は地域の皆さんです。一緒に取組んでいきましょう。

尾原ダムは、平成24年3月鳥根県雲南市木次町に完成し、地域の安全・安心の確保、河川環境の保全、水道用水の供給を目的として本格的に運用を開始しています。

## ■「尾原ダム水源地域ビジョン※」をつくりまします。

平成17年5月に「ダム湖と周辺地域が一体となった交流圏の形成」を基本理念とした『尾原ダム「地域に開かれたダム」整備計画」が策定され、ボート競技施設や自転車競技施設、道の駅、温泉施設などの周辺施設がほぼ完成し、積極的に活用されています。

今後は、これらの周辺施設を活かしながら、日常的な交流・連携を推進し、水源地域の更なる活性化を図っていく必要があります。

そこで、尾原ダム水源地域にある様々な資源と尾原ダムの積極的な活用等によって水源地域の自立的・持続的な活性化を図るための行動計画（尾原ダム水源地域ビジョン）を平成25年夏頃を目処に策定していきます。

※水源地域ビジョンとは：国土交通省と水資源機構のダムにおいて、ダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化のために、水源地域の自治体、住民等がダム事業者・管理者と協働で策定する水源地域活性化のための行動計画です。中国地方では、志津見ダム（鳥根県飯南町）、殿ダム（鳥取県鳥取市）、苫田ダム（岡山県鏡野町）をはじめ、10箇所ものダムですでに策定されています。



▲尾原ダムとさくらおうち湖

## ◆水源地域ビジョンの特徴は？

- ・地域を活かした計画です！ 水源地域の良いところを活かした様々な活性化の取組が計画されます。
- ・地域のみんが主役です！ 水源地域の活性化に向けた取組の主役は皆さんです。地域の皆さんが中心となる取組について話し合いながら、計画に盛り込んでいきます。
- ・みんなでつくりまします！ 地域の皆さんと、水源地域の自治体、ダム管理者が共同して検討を進め、計画をつくっていきます。

## ■「尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」を設立しました！

平成24年9月20日（木）に「尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」を設立しました。委員長には、速水雄一雲南市長が選出されました。

委員会では、設立趣意、規約、策定手法、広報計画が承認され、続いて水源地域ビジョンの策定へ向けた意見交換が行われました。各委員から以下のような意見が出されました。

尾原ダム水源地域ビジョン策定



▲速水委員長のあいさつ



▲策定委員会の様子

### 【各委員の主な発言】

- ・地域の方々との合意形成を図りながら水源地域ビジョンを策定していく。
- ・上流域の各種団体あるいは住民組織が連携していく必要がある。
- ・地域住民や関連団体が自ら策定したという手すり感が必要である。
- ・下流域への広報も重要であるが、地元にも周知する必要がある。
- ・平成17年に策定された『尾原ダム「地域に開かれたダム」整備計画』の内容を理解したうえで、検討していく必要がある。
- ・作業部会のメンバーについては、広く意思疎通が図られるようなメンバー選定が必要である。
- ・地域が豊かになるような、あるいは賑やかになるようなアクションプランにして欲しい。
- ・上下流交流に力をいれて欲しい。
- ・「尾原ダムならではのなにが」を明らかにし、水源地域の潜在ポテンシャルを明確にすることが重要である。

今後は、地域の皆様のご意見・ご提案をいただく作業部会（仮称）を開催しながら、水源地域ビジョンの検討を進めていきます。

次回委員会では、第1回策定委員会と作業部会（仮称）のご意見・ご提案をもとにした基本理念・地域の目標像・基本方針を報告し、具体的なプロジェクトについて意見交換を行う予定です。

### 【尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会委員】

氏名	所属・役職
作野 広和	鳥根大学 教育学部 准教授
勝部 博	温泉地区地域自主組織「ダム湖の郷」会長
中林 英清	NPO法人奥出雲布勢の郷 会長
速水 雄一	雲南市 市長（委員長）
井上 勝博	奥出雲町 町長
天津 芳郎	鳥根県 土木部 斐伊川神戸川対策課長
植田 充弘	鳥根県 雲南県土整備事務所長
館 健一郎	国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所長

（隈本 昭、取材）

編集  
後記

創刊号、いかがでしたか？ このニュースレターでは、尾原ダム水源地域ビジョンの策定状況を随時お知らせします。一緒に、尾原ダム水源地域の未来を考えましょう。ご協力よろしくお願ひします。



【発行】尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局

・雲南市 ダム対策課  
・奥出雲町 地域振興課  
・鳥根県 雲南県土整備事務所

・鳥根県 斐伊川神戸川対策課  
・国土交通省 出雲河川事務所管理第二課

尾原ダム水源地域ビジョンに関する詳しい情報は国土交通省出雲河川事務所のホームページで公開しています。 <http://www.cgr.mlit.go.jp/tzumokasen/>

# 尾原ダム水源地域ビジョンニュース

第2号 (H24.10.30発行)

このニュースレターでは、ダム等を活かして地域の更なる活性化に取組む「尾原ダム水源地域ビジョン」の策定の状況を地域の皆様にお知らせしています。

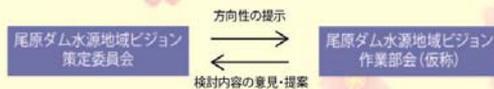
## 第1回「尾原ダム水源地域ビジョン作業部会(仮称)」\*を開催しました!

※以下、「作業部会(仮称)」という

### ◆「作業部会(仮称)」を設立しました。

平成24年9月20日に設立した「尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」へ、水源地域の活性化に向けた具体的な取組(プロジェクト)に関する意見・提案を行う「尾原ダム水源地域ビジョン作業部会(仮称)」が設立されました。

この「作業部会(仮称)」のメンバーは、地域の皆さんや地域活動団体の方などを中心に、商工観光組織の関係者や教育機関の方など幅広いメンバーで構成されています。



【尾原ダム水源地域ビジョン作業部会(仮称)メンバー】

区分	参加団体・組織	
地域住民	平田地区自治会連絡会	
	尾原連合自治会	布勢地区自治会長会
	槻之屋連合自治会	三沢地区自治会長会
	瀬村自治会連絡会	ダム湖の郷
地域活動組織	温泉地区活性化対策協議会	どんぼの会
	NPO法人ふる里雲南	NPO法人布勢の郷
	NPO法人さくらおろち	
商工観光組織	雲南市商工会	奥出雲町商工会
	J A 雲南	
教育機関	島根大学	
	行政機関	雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省

### ◆第1回「作業部会(仮称)」での討議概要

初回である今回の「作業部会(仮称)」では、尾原ダム水源地域ビジョンの策定の背景や目的などを確認しました。その後、3グループに分かれ、尾原ダム水源地域への想い(「守りたい資源」、「活用すべき資源」)や、その想いを踏まえ、今後取り組んでみたいことなど、地域活性化に向けた意見交換を行いました。

意見交換では、水源地域の魅力の発見や再認識がなされ、参加メンバーの水源地域への想いが共有されるとともに、初回にもかかわらず具体的な取組の提案がされるなど、水源地域の活性化に向けた熱心な議論が終了時間まで続きました。

最後に、各グループ毎に意見発表をして頂き、第1回の作業部会を終えました。

#### 【主な意見・提案】

- ・春は青葉、秋は紅葉、きれいな星空、こうした自然環境を守っていきたい。
- ・おいしい水、豊富な山菜や茸、仁多米など豊かな食文化を与えてくれる自然環境を守りたい。
- ・きれいな水を守りたい。そのためには油を出さない取組などを各家庭に広めていきたい。
- ・緑豊かな森を守るためには、自然観察会や学習会などの意識啓発活動を進めることが大切である。
- ・草刈りのボランティア活動など、地域でも自発的に周辺の維持管理を行うことが大切ではないか。
- ・農地の景観保全のために色とりどりの花を植えるといいいのではないか。
- ・「さくらおろち湖」の湖面をボート競技だけでなく、シーカヤックなども使って有効活用したい。
- ・ダム本体やダム周辺に整備された様々な施設を活用して、地域外の人を呼び込みたい。
- ・スポーツ施設を活用したダム上下流の交流を進めるためには、利用手続きの簡素化など、柔軟な施設運営が求められる。
- ・子供たちがのびのび遊べる自然環境を大切にしたい。
- ・焼豆腐、米などの地元食材を使った料理を伝えていきたい。
- ・神話の伝承地なので、地元でももっと神話の事を知ることが必要。神話教室などを開催してはどうか。
- ・地域資源の保全と活用には、「継続」、「マンパワー」、全体を繋ぐ「ストーリー」が必要である。

今回は、今回の「守りたい資源」や、「活かしたい資源」、「取り組みたいこと」などについて追加意見を頂いた後、体系化を行い、具体的な取組(プロジェクト)をとりまとめていく予定です。

日時 : 平成24年10月23日(火)  
19時00分～21時30分  
場所 : 国土交通省尾原ダム管理支所  
参加者 : 29名



▲作業部会(仮称)の位置づけ、目的などの説明



▲意見交換・アイデア出しの状況

▲各グループのリーダーによる発表

編集  
後記

活発な意見交換ありがとうございました。グループで様々な人が意見交換することで、新たな発見や気づきがあったかと思えます。この「作業部会(仮称)」の名称は、メンバーの方に提案をいただき、次回決定する予定です。



【発行】尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局

・雲南市 ダム対策課  
・奥出雲町 地域振興課  
・島根県 雲南県土整備事務所

・島根県 斐伊川神戸川対策課  
・国土交通省 出雲河川事務所管理第二課

尾原ダム水源地域ビジョンに関する詳しい情報は国土交通省出雲河川事務所のホームページで公開しています。 <http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>

# 尾原ダム水源地域ビジョンニュース

第3号 (H24.11.28発行)

このニュースレターでは、ダム等を活かして地域の更なる活性化に取組む「尾原ダム水源地域ビジョン」の策定の状況を地域の皆様にお知らせしています。

## 第2回「さくらおろちを活性化する会」を開催しました

### ◆組織の名称が「さくらおろちを活性化する会」に決定しました。

「尾原ダム水源地域ビジョン作業部会(仮称)」の名称を参加メンバー11名から提案していただきました。提案いただいた名称案をもとに第2回作業部会(仮称)で組織の名称を討議し、「さくらおろちを活性化する会」に決定しました。

### ◆「尾原ダム水源地域ビジョン」の策定状況は、様々な媒体を活用して発信しています。

様々な情報媒体を用いて、尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会の審議内容(議事要旨・資料)及び作業部会の検討概要等を発信しています。

#### ■ホームページ

尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会での審議内容や資料を国土交通省出雲河川事務所HP上に専用コーナーを設け、広く水源地域ビジョンの策定状況を発信しています。

- ・ホームページ(専用コーナー)の立ち上げ:10月1日
- ・専用コーナーへのリンク設定(島根県土木部斐伊川神戸川対策課):10月5日
- ・専用コーナーへのリンク設定(島根県雲南県土整備事務所):10月11日
- ・専用コーナーへのリンク設定(雲南市):10月11日

#### ■公報

島根県や雲南市、奥出雲町が発行する公報を活用し、水源地域ビジョンの策定状況や策定スケジュールなど、水源地域ビジョンに関する情報を発信し、地域住民等の関心の喚起を目指しています。

- ・「市報うんなん」での掲載:11月15日
- ・「広報奥出雲」での掲載:11月20日

#### ■地域マスメディアの活用

尾原ダム水源地域を主な活動範囲とする地域マスメディア(雲南ケーブルテレビ、雲南夢ネットなど)に対し、水源地域ビジョン策定委員会の開催案内や実施内容を積極的に伝えていきます。

また、地元新聞社に対しても、開催案内などの情報を発信していきます。

### ◆取組(プロジェクト)の追加内容を出し合いました。

第2回「さくらおろちを活性化する会」では、前回の意見交換の結果を確認するとともに、守りたい資源や活かしたい資源、取組の追加意見・提案を出し合いました。

その後、具体的な取組を「プロジェクト」として位置づけ、3つのグループで熱心な意見交換を行いながら、各プロジェクトの目的や実施場所、具体的な取組などを詰めていきました。

提案されたプロジェクトは、景観を保全するための植栽や、各種イベントの企画・開催、大学生との連携など、多様な分野に広がっていました。

最後に、各グループの意見を全体で発表していただき、皆で意見を共有して第2回「さくらおろちを活性化する会」を終えました。

日時 :平成24年11月15日(木)  
19時00分~21時30分  
場所 :国土交通省尾原ダム管理支所  
参加者:25名



▲取組(プロジェクト)の体系化や内容の説明



▲意見交換・アイデア出しの状況

▲各グループのリーダーによる発表

#### 【主な意見・提案】

- ・ダム周辺道路の景観を守るためにも、周辺に繁茂するクズの対策を行ってほしい。
- ・水質保全と環境保全の啓発を兼ねてビオトープを整備したい。
- ・ダム湖周辺の景観を向上させるために、サクラやモミジの植栽を行ってほしい。
- ・人がぐるぐるダムになるよう、堤体のライトアップやイルミネーション、クレスト放流などを実施したらどうか。
- ・ダム本体や堤頂道路を活用したイベント(ロッククライミング、綱引き大会、ボウリング大会など)を実施してほしい。
- ・尾原ダムを活かした「日本一」を探し、挑戦してみたい。
- ・ダムのビューポイントの探索や、尾原ダムフォトコンテストを開催したい。
- ・ダム周辺の静寂さを活かした星空観察会などを開催したらどうか。
- ・道の駅を拠点としたレンタサイクルの実施を検討したい。
- ・さくらおろち湖とサイクリング施設を活用して、トライアスロン大会を開催したらどうか。
- ・島根大学や島根県立大学の学生と連携してほしい。

今回は、今回出していたいただいた具体的な取組(プロジェクト)の体系化と内容確認の後、プロジェクトの優先順位をつけるとともに、「先行プロジェクト(1年目実施)」を選び、そのとりまとめ様式を確認する予定です。

編集  
後記

グループでの意見交換を通し数多くの意見・提案をいただき、ありがとうございました。この地域が持つ可能性と今後の方向性が、見えてきたように思います。活発な意見交換をよろしくお願ひします。



【発行】尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局

・雲南市 ダム対策課  
・奥出雲町 地域振興課  
・島根県 雲南県土整備事務所

・島根県 斐伊川神戸川対策課  
・国土交通省 出雲河川事務所管理第二課

尾原ダム水源地域ビジョンに関する詳しい情報は国土交通省出雲河川事務所のホームページで公開しています。 <http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>

# 尾原ダム水源地域ビジョンニュース

第4号 (H24.12.25発行)

このニュースレターでは、ダム等を活かして地域の更なる活性化に取組む「尾原ダム水源地域ビジョン」の策定の状況を地域の皆様にお知らせしています。

## 第3回「さくらおろちを活性化する会」を開催しました

### ◆抽出された55個のプロジェクトの実施内容を確認しました。

第1回・第2回さくらおろちを活性化する会で抽出された取組(プロジェクト)の目的や実施場所、具体的取組などを事前にアンケート調査で意見を募るとともに、1つ1つ確認し、尾原ダム水源地域ビジョンに掲載すべき実施内容を確認しました。

### ◆55プロジェクトの優先順位と先行プロジェクト※を選定しました。

尾原ダム水源地域ビジョンとして実施するプロジェクトの内容を踏まえ、各プロジェクトの優先順位を右図のように検討しました。

プロジェクトの優先順位の検討にあたっては、まず、事前に実施したアンケート調査の結果をもとに、先行プロジェクト(1年目に実施する取組)についての意見交換を行いました。その結果、55個のプロジェクト(案)のうち、40個を先行プロジェクト(案)として選定されました。

次に、先行プロジェクトとして選定されなかったプロジェクトを「取組みやすさ」と「目標時期」で評価し、早期に実施すべき施策(1~3年)、中期に実施すべき施策(4~6年)、長期に実施すべき施策(7~10年)の3つに分類しました。

最後に、先行プロジェクトのとりまとめフォーマットを確認し、第3回「さくらおろちを活性化する会」を終えました。

※先行プロジェクト:1年目から実施するプロジェクト

日時:平成24年12月12日(水)  
19時00分~21時30分

場所:国土交通省尾原ダム管理支所  
参加者:23名

先行プロジェクト	中期に実施すべき(4~6年)	長期に実施すべき(7~10年)
取組みやすさ	高	中
目標時期	早期	中期



▲グループに分かれての意見交換の状況 【A班】



【B班】



【C班】



▲全体での意見交換の状況



▲プロジェクトの優先順位付けの状況



今後は、平成25年1月17日開催予定の「第2回策定委員会」で決定されたプロジェクト(案)のうちから先行プロジェクトについて、平成25年2月上旬頃開催予定の「さくらおろちを活性化する会」で1年目に実施すべき内容や実施主体、役割分担などを討議し、取りまとめる予定です。

編集後記

先行プロジェクトの選定に際し、ご協力いただきありがとうございました。選定されたプロジェクトの数の多さや示すように尾原ダム周辺地域では、既に活かな活動が実施されています。次回も活かな意見交換をよろしくお願いいたします。



【発行】尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局

・雲南市 ダム対策課  
・奥出雲町 地域振興課  
・島根県 雲南県土整備事務所

・島根県 斐伊川神戸川対策課  
・国土交通省 出雲河川事務所管理第二課

尾原ダム水源地域ビジョンに関する詳しい情報は国土交通省出雲河川事務所のホームページで公開しています。 <http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>

# 尾原ダム水源地域ビジョンニュース

第5号 (H25.1.29発行)

このニュースレターでは、ダム等を活かして地域の更なる活性化に取組む「尾原ダム水源地域ビジョン」の策定の状況を地域の皆様にお知らせしています。

## 第2回「尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」を開催しました！

- ◆平成25年1月17日(木)に「第2回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」を国土交通省尾原ダム管理支所で開催しました。
- ◆第2回委員会では、全委員の出席のもと

- 尾原ダム水源地域ビジョンの基本理念、地域の目標像、基本方針の報告
- 尾原ダム水源地域ビジョンにおけるプロジェクト(案)の提案・審議
- 尾原ダム水源地域ビジョンのプロジェクトの取組時期(案)の審議 など

について実施しました。

◆尾原ダム水源地域ビジョンの「基本理念」、「地域の目標像」、「基本方針」が「さくらおろちを活性化する会」での議論を踏まえ、最終版が報告されました。

◆尾原ダム水源地域ビジョンとして、55のプロジェクト(既存19件、新規36件)が承認されるとともに、『先行プロジェクト(1年目から実施)』として41件が承認され、2件が追加検討を依頼されました。さらに、先行プロジェクトの内容を記載するフォーマットも承認されました。

### 基本理念

斐伊川の源流をなす森や清流などの豊かな自然環境の恵み、魅力ある歴史文化などの地域資源、及び尾原ダム周辺の様々な施設等を、地域内・斐伊川流域圏の連携によって総合的に活用し、尾原ダム水源地域の自立的・持続的な発展を目指します。

### 地域の目標像

斐伊川流域圏の連携による尾原ダム周辺地域の自立的・持続的発展

### 基本方針

- ◆水源地域を結び、拓く
- ◆流域圏の恵みの源を守り、育む
- ◆さくらおろちの魅力を磨き、活かす

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト
<b>水源地域を結び、拓く</b> 水源地域の多様な関係者の結びつきによって取組の体制を充実し、地域の自立的・持続的な発展を拓いていきます。	I. 人材の活用	(1) 人材の活用	(1)-1 人材の発掘・活用、(1)-2 接客技術(おもてなしの心)の向上 (1)-3 教育機関(大学等)との連携
	II. 組織の整備	(2) 組織の整備	(2)-1 関連事業・組織との連携、(2)-2 リーダーの育成
	III. 企業との連携	(3) 企業との連携	(3)-1 企業との連携(CSR活動)
	IV. 斐伊川流域圏の連携	(4) 斐伊川流域圏の連携	(4)-1 下流域からの支援、(4)-2 上下流域、(4)-3 流域圏交流
	V. 情報発信	(5) 情報発信	(5)-1 情報発信の促進(ホームページ、カレンダー、新聞掲載) (5)-2 フィルム・コミッションの推進
<b>流域圏の恵みの源を守り、育む</b> 斐伊川流域圏の暮らしや産業の恵みの源である水源地域の森や水などの自然環境を守り、育てていきます。	VI. 環境の保全	(6) 森林の保全・維持管理活動 (7) 河川の水質の保全 (8) 生物の生息環境の保全 (9) 環境学習会等の開催	(6)-1 森林の整備・管理、(6)-2 ボランティア活動の実施 (7)-1 水質の保全、(7)-2 ビオトープの整備 (8)-1 生態系等の保全(動物、植物)、(8)-2 外来種、害獣、害鳥対策 (9)-1 環境学習会の開催(森林、水質、水産資源、自然) (9)-2 体験プログラムの企画・開催(遊学・職業体験)
	VII. 景観保全・整備	(10) ダム周辺や水辺の景観の保全・整備 (11) 農村や周辺の景観の保全・改善	(10)-1 ビューポイントの発掘・活用(お祭り、お祭り) (10)-2 クラスやクラブ等の対策・整頓、竹藪の管理 (10)-3 ダム周辺緑地の緑化(サクラ、ドウダンツツジ) (11)-1 農地保全の仕組みづくり、(11)-2 農村景観の向上(ミックスフラワー)
	VIII. 自然環境の活用	(12) 森林の保全・活用	(12)-1 森林の活用促進(森林セラピー、木の保育園)
	IX. ダム周辺の既存施設の活用	(13) ダム本体の活用 (14) サイクリング施設の活用 (15) さくらおろち湖の活用 (16) 既存施設等の活用	(13)-1 尾原ダムの魅力発掘(ライトアップ、クレスト景観) (13)-2 日本一プロジェクト (14)-1 サイクリングコースの活用・PR(遊学コース、ショートコース) (14)-2 レンタサイクルの実施、(14)-3 サイクリングコースの改善 (15)-1 景観利用の活用(体験型PR、ソーサングラス、水筒) (15)-2 さくらおろち湖の魅力発信、(15)-3 湖川利用(PR・水産・施設整備)
	X. 歴史・文化の継承	(17) 神話の継承・活用 (18) 郷土料理の継承・活用 (19) 地域文化の継承・活用	(17)-1 出雲神話の活用・PR(マップ作り、関連ツアー) (18)-1 郷土料理の継承・活用(交流、イベント)、(18)-2 モニターツアーの開催 (19)-1 伝統の活用(スタンプラリー)
<b>さくらおろちの魅力を磨き、活かす</b> さくらおろち湖と水源地域が有する歴史・文化、自然などの資源を魅力として磨き、活かしていきます。	XI. 新たな魅力・資源の発掘	(20) 新たな魅力・資源の発掘・活用 (21) 「地域全体」の発掘・活用 (22) 漁業資源の育成と活用 (23) 特産品の開発・販売	(20)-1 温泉の活用(スタンプラリー) (21)-1 観光資源の再整理、(21)-2 地域体験ツアーの開催 (22)-1 漁業資源の創出(ワカサギの放流) (23)-1 特産品の開発・販売促進
	XI. 交流イベント(既存)の開催	(24) 湖面イベントの開催 (25) 湖畔イベントの開催 (26) 周辺イベントの開催・継続	(24)-1 ボート大会の活性化 (25)-1 音楽イベントの開催、(25)-2 サイクリングイベントの開催 (25)-3 さくらおろち湖祭りの開催 (26)-1 そばうち交流会の開催、(26)-2 トレイルランニングの開催



▲策定委員会の様子

**編集後記** 2月初旬開催予定の「第4回さくらおろちを活性化する会」では、本委員会承認された「先行プロジェクト」の内容(取組事項、実施主体、役割分担など)を議論する予定です。

- 【発行】尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局
- ・雲南市 ダム対策課
  - ・島根県 斐伊川神戸川対策課
  - ・奥出雲町 地域振興課
  - ・国土交通省 出雲川事務所管理第二課
  - ・島根県 雲南県土整備事務所



尾原ダム水源地域ビジョンに関する詳しい情報は国土交通省出雲川事務所のホームページで公開しています。 <http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>



#### ④公報

島根県や雲南市、奥出雲町が発行する公報を活用し、水源地域ビジョンの策定状況や策定スケジュールなど、水源地域ビジョンに関する情報を発信し、地域住民等の関心の喚起を目指します。

#### 【実施事項】

- ◆ 「広報 奥出雲」に、第1回委員会の開催報告を掲載 11/15
- ◆ 「市報 うんなん」に、第1回委員会、第1回活性化する会の開催報告を掲載 11/20

今年三月に完成した尾原ダムの活用と、周辺地域の活性化を図るための行動計画「尾原ダム水源地域ビジョン」。この第一回策定委員会が九月二十日、尾原ダム管理支所で行われました。

この委員会は、ダム事業者、雲南市、奥出雲町、両市町の住民などで組織され、委員長には速水雄一雲南市長が選任されました。

事務局からビジョンの基本方針案が提示され、ビジョン策定へ向けた意見交換が行われました。

今後、住民や観光・商工関係者などで会合を重ね、平成二十五年夏までに計画をまとめます。



▲会議の様子

#### 広報奥出雲

**尾原ダム水源地域ビジョン 策定に向け動き出しました**

尾原ダム水源地域にある様々な資源と尾原ダムの積極的な活用により自立・持続的な活性化を図るための行動計画として「尾原ダム水源地域ビジョン」を、奥出雲町、雲南市、両市町とともに策定します。

9月20日は第一回の「尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」が開催され、速水市長が委員長に選出されました。委員会は、設立趣意、規約、策定手法、広報計画が承認されました。また、地域のみなさんや、地元関係団体を中心とする「尾原ダム水源地域ビジョン作業部会」が設立され、10月23日に第一回の作業部会が開催され、具体的な取組に関する意見交換がなされました。

尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会であり、さつをずる速水市長

#### 市報うんなん

#### ⑤地域イベントとの連携

尾原ダム水源地域で実施される地域交流イベント時に尾原ダム水源地域ビジョンの策定状況や概要などのパネルを掲示するPRブースを設置し、参加者への情報発信を行っています。

#### 【実施事項】

- ◆ 「尾原ダムさくらおろち湖祭り 2012」で専用パネルの掲示、ニュースレターの配布 10/21



尾原ダムさくらおろち湖祭り 2012 でのパネル掲示

## ⑥地域マスメディアの活用

尾原ダム水源地域を主な活動範囲とする地域マスメディア（奥出雲ケーブルテレビ、雲南夢ネットなど）に対し、水源地域ビジョン策定委員会や活性化する会の開催案内や実施内容を積極的に伝え、地域のニュースとして取り扱ってもらうように依頼しています。

また、地元新聞社に対しても、開催案内などを投げ込みし、取材や新聞への掲載を促します。

### 【実施事項】

#### [第1回策定委員会]

- ◆ 『雲南夢ネット「うなん情報Now」』で第1回策定委員会の実施状況を放映 9/28
- ◆ 山陰中央新聞、朝日新聞、読売新聞の朝刊に水源地域ビジョンの策定の意義や第1回委員会の協議内容などが掲載 9/21

平成24年9月28日 うなん情報Now



### 尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会初会合

秋の全国交通安全運動始まる  
「イクジイ」を楽しむセミナー  
雲南障害者スポーツ大会  
児童ら魅了 オペラ「カルメン」  
古代の斐伊川流域を考える  
中学生がニュース製作「職場体験学習」

### 雲南夢ネットホームページ

今春完成した尾原ダム（雲南市木次町、奥出雲町）周辺の振興策を検討する「同ダム水源地域ビジョン策定委員会」（委員長・速水雄一、雲南市長）の初会合が20日（同市内）であった。来年の夏をめどに、上流と下流域の交流の推進策などを協議し、行動計画をまとめる。

委員会は、同ダム周辺に整備されたボート、自転車の両競技施設

尾原ダム周辺水源地域ビジョン策定に向け、意欲を示す同策定委員会の速水雄一委員長（左から4人目）

尾原ダム  
周辺振興策協議へ  
ビジョン策定初会合  
来夏めど行動計画

設など13施設と豊かな地域資源の有効活用を狙う。国土交通省が、ダムが立地する2市町や県と共同で設立し、地元で地域活性化に取

り組む団体の代表ら8人が委員に選ばれた。初会合では国交省が基本方針案を提示。目標を「斐伊川流域圏の連携による尾原ダム周辺地域の自立的・持続的発展」と定め、活動を支える担い手の育成や観光交流に取り組み方針を掲げた。

意見交換では、国の斐伊川・神戸川治水対策事業の3点セットとして尾原ダムなどとともに進められている、斐伊川放水路（出雲市）や大橋川改修（松江市）の早期完成に向け、多くの委員が、上流と下流の交流の必要性を指摘した。

平成 24 年 9 月 21 日（金） 山陰中央新報 朝刊

# 尾原ダム生かす まちづくり探る

## ビジョン策定委設立

斐伊川上流に完成した尾原ダム（雲南市木次町）を生かした地域振興策を探る「尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」が20日、設立された。ダムを管理する国土交通省出雲河川事務所、県、ダム・貯水池「さくらおろち湖」の位置する雲南市、奥出雲町と住民代表らで組織する。委員長に選ばれた速水雄一市長は「ダムを生

かしたまちづくりに向けて構想力、実行力、指導力、説明力を発揮する委員会にしたい」とあいさつした。作業部会を設けて具体的な振興策を検討し、来年夏ごろの策定を目指す。（岡田和彦

平成 24 年 9 月 21 日（金） 朝日新聞 朝刊

## 「尾原ダム」活用 ソフト面重視説明 策定委初会合

（雲南市）の活用や周辺地域の活性化を進めるための行動計画「尾原ダム水源地域ビジョン」の策定委員会が20

日、雲南市の活用や周辺地域の活性化を進めるための行動計画「尾原ダム水源地域ビジョン」の策定委員会が20日、初会合を開いた。国土交通省出雲河川事務所長、井上勝博・奥出雲町長らのほか、作野広和・島根大教育学部准教授、住民団体代表らが出席し、速水雄一・雲南市長を委員長に選任。事務局の同河川事務所が、策定にあたっては、ダムや周辺のボート競技施設や自然環境の活用などのソフト面に重点を置くこと、上下流域の交流活動を考えることなどを説明。「自立的・持続的な流域圏の基盤の構築」などの基本方針案を提示した。今後、住民や観光・商工関係者らも交えた作業部会を設置し、来年夏頃にもビジョンをまとめる。

水源地域ビジョンは2

001年に国交省が全国のダムで策定を呼びかけており、県内では今年3月に策定された志津見ダム（飯南町）に続いて2か所目となる。

（高田史朗）

平成 24 年 9 月 21 日（金） 読売新聞 朝刊

[第2回策定委員会]

- ◆ 『雲南夢ネット「うんなん情報 Now」』で第2回策定委員会の実施状況を放映 1/25
- ◆ 『奥出雲ケーブルテレビ「コミュニティチャンネル」』で第2回策定委員会の実施状況を放映
- ◆ 山陰中央新聞、朝日新聞、島根日日新聞の朝刊に第2回委員会の協議内容などが掲載 1/18、1/19、1/22

平成24年1月25日 うんなん情報Now



プレミアム商品券 販売開始  
 雲南翠木会 初釜茶会  
 園児が書初めに挑戦  
 親子で軽スポーツを体験  
 児童が税について学ぶ  
 雲南の物産 広島でPR  
 広島在住のふるさと出身者集う  
**尾原ダム周辺の振興策を探る**

雲南夢ネットホームページ

**魚釣りなど新規36件**  
**尾原ダム周辺地域活性化策**  
**55事業の計画素案提示**  
 地域ビジョン策定委

尾原ダム（雲南市木次町、島根県奥出雲郡）の保全、地域資源の活用をテーマに掲げた。当たり、新たな試みとする「水源地域ビジョン策定委員会」（委員長・速水雄一町市長、8人）が17日、雲南市木次町であった。ダム湖面での魚釣り大会の開催など新規36件を含め、55件のプロジェクトを盛り込んだ行動計画の素案が示された。同委員会は国土交通省と県、地元2市町が、島根大と住民組織の参画を得て昨年9月に設立。行動計画は今後10年間を対象とし、検討部会で協議してきた。素案では、下流部を含めた斐伊川流域の住

民の連携や環境・景観 全体の約6割が資源の活用をテーマに掲げた。当たり、新たな試みとする「水源地域ビジョン策定委員会」

尾原ダム水源地地域ビジョン策定委員会

行動計画の素案について協議する委員—雲南市木次町平田、国土交通省出雲河川事務所尾原ダム管理支所

してダムでの魚釣り大会や花火大会、シーカヤックのイベントの開催、神話伝承地を巡る旅行商品の企画などを挙げた。流域の住民連携では、映画やドラマを誘致する行など、計41件は来年度に移したいと考えている。行動計画は今後、各プロジェクトの事業主体などを検討し、今夏に正式決定する。

平成 25 年 1 月 18 日（金） 山陰中央新報 朝刊

# 活性化の取り組み案と時期を審議

## 尾原ダム水源地域ビジョン策定委

雲南市と奥出雲町にまたがる尾原ダム周辺  
の自立的、持続的な活  
性化のための行動計画

（水源地域ビジョン）策定を目指す「尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」（委員長・速水雄一、雲南市長、八人の二回目の策定委員会）が十七日、雲南市木次町の平田の国土交通省出雲河川事務所尾原ダム管理支所で、具体的な取り組み内容と実施時期について審議した。

青、奥、東、南、西、設立。この日の会では、地域住民や団体、行政機関などで昨年十月に設立された、ビジョン策定に向けて具体的な取り組み（プロジェクト）の提案を行う（報告）の会（がまとめた、五十五のプロジェクト案が事務局から提示された。

実施すべき時期を早期（一～三年）、中期（四～六年）、後期（七～十年）に分け、早期のうち来年度から取り組む「先行プロジェクト」としては、サイクルリンクコースの活用



策定委員会で審議する委員=17日、尾原ダム管理支所

水陸両用バスやシーカヤックなどによる湖周利用の活性化、ダム湖周辺の観光、釣り利用、出雲神話の活用とヒールなど三十二の新プロジェクト、「さくらおろち湖祭り」「そば文化交流会」、音楽イベントといった十九の既存プロジェクトがあげられた。

水陸両用バスやシーカヤックなどによる湖周利用の活性化、ダム湖周辺の観光、釣り利用、出雲神話の活用とヒールなど三十二の新プロジェクト、

平成 25 年 1 月 19 日（土） 島根日日新聞 朝刊

# 尾原ダムとダム湖 活用理念が決まる

ビジョン策定委

斐伊川上流の尾原ダムとダム湖「さくらおろち湖」（雲南市、奥出雲町）を生かした地域振興策を探る「尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会」（委員長＝速水雄一市長）の第2回会合が17日、現地で開かれた。

ビジョンの基本理念として「豊かな自然環境、歴史文化などの地域資源、ダム周辺の施設などを流域圏の連携によって総合的に活用し地域の自立的・持続的な発展を目指す」を決めた。

作業部会「さくらおろちを活性化する会」（行政、住民と地域の各種団体や大学生ら36人）では具体的な取り組みについて、水源林

での「森の幼稚園」やボラントリーアによる森林保全、ピオトップ整備、農業体験ツアー、森林セラピー、ダムをスクリーンに見立てた無料オートシアター、釣り大会、郷土料理モニターツァー、ロックフェスティバルなど55項目が候補に挙がった。

速水委員長は「地域の持つ潜在的な魅力を生かす活性化策が出てきた。思いが形になるようにしよう」と呼びかけた。

委員会は、ダムを管理する国土交通省出雲河川事務所と県、両市町、住民代表と学識経験者で組織している。

（岡田和彦）

平成 25 年 1 月 22 日（火） 朝日新聞 朝刊